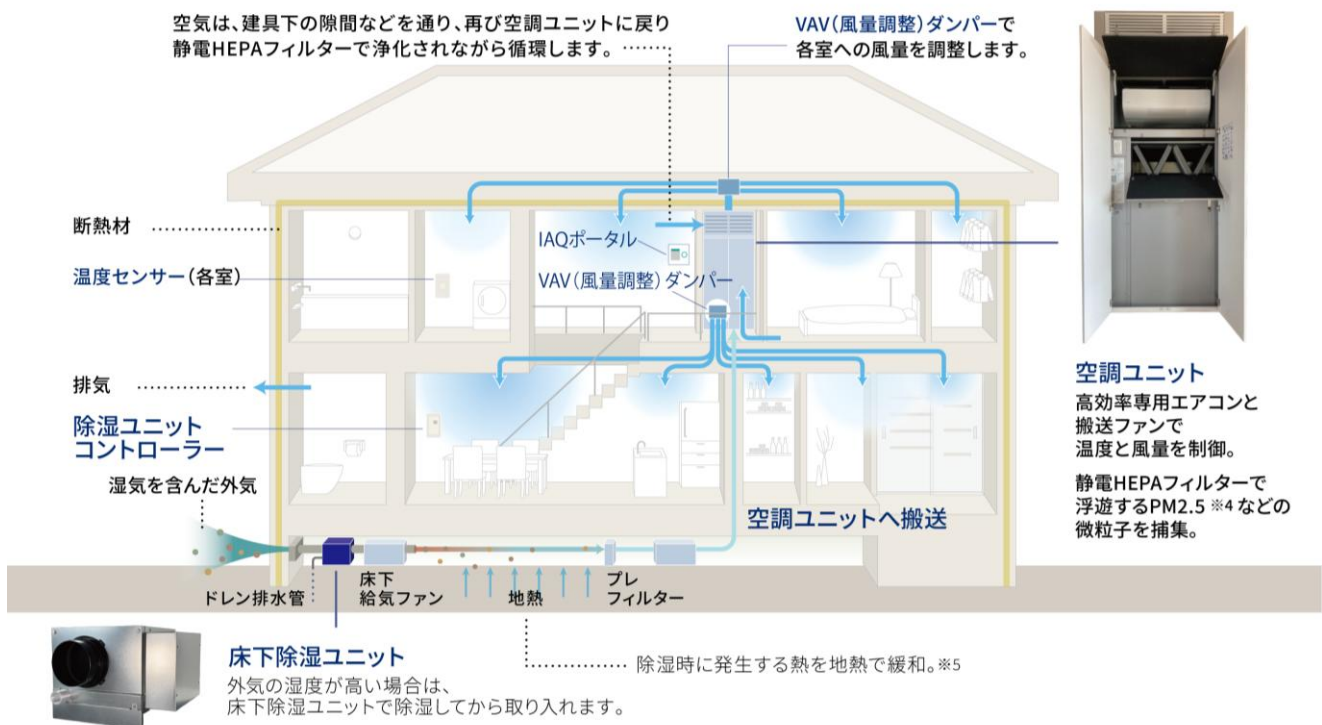


2026 年 8 月 31 日

高温多湿化や将来の気候変動に備えて「除湿機能」を強化
全館空調『エアロハス』に床下除湿ユニットを搭載した 戸建住宅新商品を発売

パナソニック ホームズは、このたび、全館空調システム『エアロハス』に新たに床下除湿ユニット^{※1}を搭載し、これを採用した戸建住宅商品『NEW カサート X(エックス)』『NEW フォルティナ X』を、2026 年 10 月 1 日に発売します^{※2}。また、2026 年 9 月 1 日から先行モニターキャンペーンも実施します。

『エアロハス』は、家じゅうの温度差を抑えながら快適な空気環境を保つ全館空調システムで、2017 年の発売以来、累計約 8,000 棟の出荷実績があり、現在では新築の約半数のお客さまが採用^{※3}しています。気候変動に伴って高温多湿化が進むなか、床下除湿ユニットの導入により、家じゅうの温度だけでなく夏場の湿度環境も整え、より快適な住空間を実現。「次世代の日本の気候」を見据え、お客さまが世代を越えて、長く、心地よく暮らせる住まいづくりを推進します。



床下除湿ユニット(左下)を搭載した全館空調システム『エアロハス』の仕組み(冷房運転時)

■開発の背景

当社は創業以来、「空気質」を住まいの重要な価値と位置づけ、地熱利用換気や稚内珪藻土による調湿技術など、自然の力を活かした住環境づくりに取り組んできました。しかし、近年の気候変動で、従来の対策だけでは心地よい室内環境の維持が難しくなりつつあります。約 60 年後の気候条件下で行った芝浦工業大学との共同研究^{※6}では、『エアロハス』採用の住宅において、温度は夏季でも快適に保てるものの、湿度環境へのさらなる対応や消費エネルギーの効率化が求められることがわかっています。

これらの研究等を踏まえ、今回、自然の力に加え機械による除湿機能を組み合わせることで、湿度が高い時期でも良好な温湿度環境を実現できる住まいを目指し開発を行いました。

■床下除湿ユニットを搭載した全館空調システム『エアロハス』の特長

「床下除湿ユニット」が、高温多湿な季節の湿度環境を効率的に整え、快適な室内環境を保ちます。また、湿度の上昇を抑えることで、カビ・ダニが繁殖しにくい環境づくりにも寄与します。

(1)高温多湿な時期に家じゅうの湿度を 10～15%抑え^{※7}、より快適に

人にとって“快適”とされる湿度帯は、概ね相対湿度 40～60%RH と言われています。高湿な空気を、室内に給気する前に床下で除湿した後、空調ユニットで冷房して家じゅうに搬送し^{※8}、湿度を抑制します。

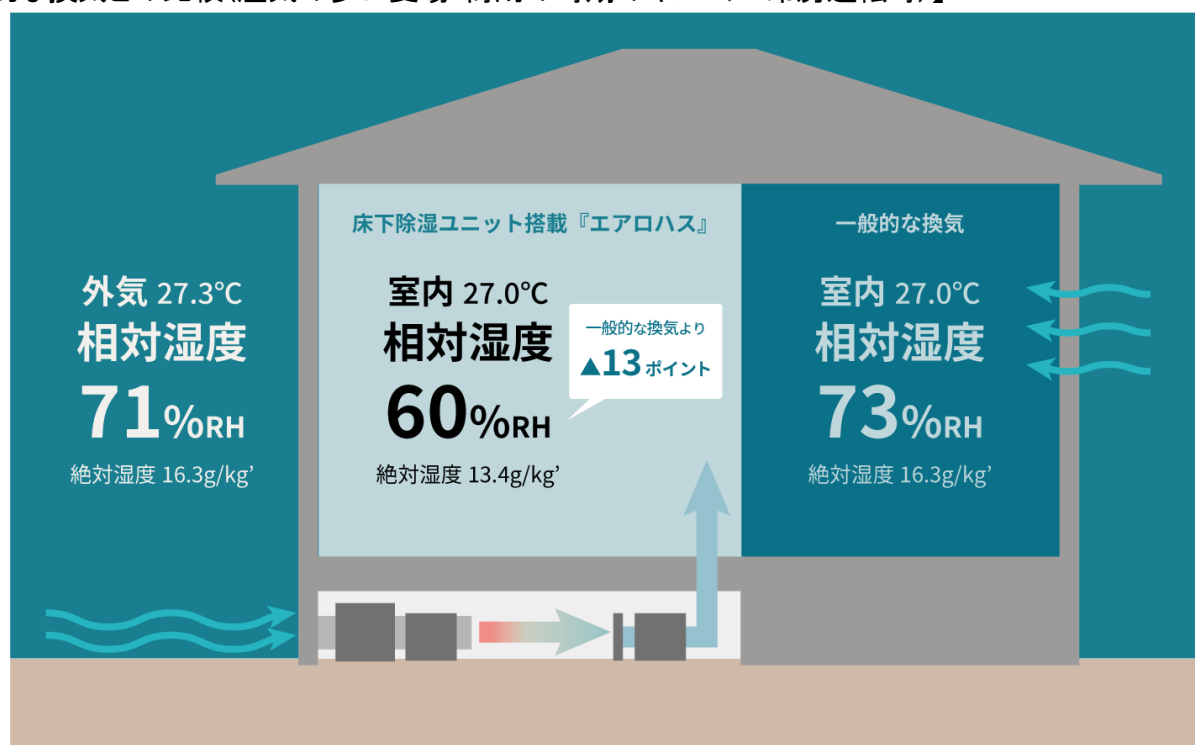
(2)自然の力＝地熱の活用によって、除湿に伴う温度上昇を抑制

「床下除湿ユニット」で除湿した空気は、床下空間を介して室内に給気されます。除湿によって温度が上昇した空気を、地熱の効果で緩和して換気に活用します^{※5}。

(3)除湿にまつわるさまざまな“手間”“面倒”を軽減

「床下除湿ユニット」は、外気を床下に取り入れる際に、センサーで温湿度を検知し、湿気が多い場合には自動で運転します。また、除湿時に発生する水は、床下除湿ユニットのドレン(排水管直結)から自動で排水されます。また、あらかじめ湿度を下げた空気を供給することで、空調ユニット内の『エアロハス』専用エアコンなどの空調機器にかかる除湿負荷を軽減します。

【一般的な換気との比較(湿気の多い夏場・梅雨の時期のイメージ・冷房運転時)】



「床下除湿ユニット」により、1日あたり平均 16 リットル^{※7}の除湿を実現します。外気の相対湿度を 71%RH とした場合に、一般的な換気では 73%RH であるのに対し、床下除湿ユニット搭載『エアロハス』では 60%RH となり、相対湿度を約 13 ポイント低減します^{※7}。湿気の多い梅雨の時期や夏場でも、住まいに流入する湿気を効率よく取り除き、家じゅうの湿度上昇を抑制^{※8}します。

◎全館空調『エアロハス』の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/sumai/lifestyle/airlohas/>

■戸建住宅新商品について

戸建住宅商品『カサート』・『フォルティナ』に、床下除湿ユニット搭載の全館空調システム『エアロハス』を採用し、『NEW カサート X』・『NEW フォルティナ X』として 2026 年 10 月 1 日に発売します。

『カサート』商品ページ: <https://homes.panasonic.com/sumai/lineup/casart/>

『フォルティナ』商品ページ: <https://homes.panasonic.com/sumai/lineup/fortina/>

■当社の「空気質」を重視した住まいづくりの取り組み

創業以来、空気質にこだわった住まいづくりを重視し、「調湿」については 1998 年の稚内珪藻土を用いた調湿技術の採用以来、約 30 年にわたって取り組みを続けています。

1961 年	当社の原点となるモデル「松下一号住宅」で、『自然換気口(換気ガラリ)』を採用
1963 年	ナショナル住宅建材株式会社 創業
1985 年	機械換気システムを採用
1988 年	床下地熱を利用した換気システムを採用
1999 年	稚内珪藻土による調湿技術を採用
2011 年	自然の地熱や温度差を利用しつつ省エネ制御を行う『エコナビ搭載換気システム』を採用
2014 年	HEPA フィルター搭載の換気システム『HEPA+』を採用
2017 年	全館空調システム『エアロハス』を採用(2019 年・2021 年の省エネ大賞を受賞)
2026 年	全館空調システム『エアロハス』に床下除湿ユニットを新たに搭載

■芝浦工業大学との共同研究について

当社と芝浦工業大学は、当社が所有する国内最大規模の人工気象室(住宅試験センター内／滋賀県東近江市)を活用し、約 60 年後の気候条件が住宅の温熱環境・空調性能に及ぼす影響について共同検証を行い、その結果を 2026 年 5 月 19 日に公表しました。

【検証内容】

全館空調システム『エアロハス』を採用した住宅を対象に、現在気候・将来気候^{※9}各条件下(右表)で、各居室及び空調機器周辺の温度・湿度、消費電力量などを比較・評価。

	現在気候		将来気候	
	平均温度	平均絶対湿度	平均温度	平均絶対湿度
夏季	27.6℃	17.2g/kg'	30.4℃	20.2g/kg'

【結果】

『エアロハス』採用住宅では、将来気候を想定した夏季の高湿度条件下においても、快適な温熱環境を維持し、室内湿度の上昇を抑制できることを確認しました。一方で、夏季の高温多湿化に伴い除湿負荷が増加することから、将来に向けては除湿に要する消費エネルギーの低減が住宅設計・設備開発における重要な課題となる可能性が示されました。

◎プレスリリース 気候変動が住宅に及ぼす影響を 芝浦工業大学と共同検証(2026 年 5 月 19 日)

<https://homes.panasonic.com/company/news/release/2026/0519.html>

- ※1: 床下除湿ユニットは、床下の換気給気部に設置され、外気の温度と湿度を検知し、除湿に適した条件で自動運転します。
- ※2: 床下除湿ユニットを搭載した『エアロハス』は、省エネ基準地域区分 5・6・7 地域で標準採用、同区分 4 地域でオプション採用となります。
- ※3: 当社の新築戸建住宅における全館空調システム『エアロハス』の採用率は、2017 年の発売以来年々上昇傾向にあり、2020 年度の 26%から 2025 年度には 52%へと増加しています。
- ※4: PM2.5 とは $2.5\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質の総称です。
- ※5: 除湿運転時には、空気中の水蒸気が水滴へ変化する際に凝縮熱が発生するため、空気温度が上昇します。除湿による温度上昇は、床下地盤との熱交換により緩和されますが、完全に相殺されるものではありません。
- ※6: プレスリリース:約 60 年後の気候環境下で 住宅の温度・湿度・消費電力量を測定 気候変動が住宅に及ぼす影響を 芝浦工業大学と共同検証 国内最大規模の人工気象室にある実大住宅で実証(2026 年 5 月 19 日)
<https://homes.panasonic.com/company/news/release/2026/0519.html>
- ※7: 梅雨時期を含む 7 月の試算結果(平均)を示しており、実際の効果は建築地域の外気条件やプラン等により異なります。なお、本試算では冷房機器の除湿効果は考慮していないため、冷房運転時には室内湿度のさらなる低減が見込まれます。
＜試算条件＞建物条件:基礎断熱仕様、床下面積 60 m^2 、換気量 $195\text{ m}^3/\text{h}$ 、外気条件:標準年拡張アメダス気象データ 2010 年版(6 地域代表地点:岡山市)。室内条件:冬季 18°C 、夏季 27°C の周期定常条件。
- ※8: 浴室・トイレなどの空調対象外の空間には、吹出口は設置されません。
- ※9: 現在気候は拡張アメダス気象データ標準年(1995 年版)、将来気候は気象庁の気候変動予測に基づく将来標準年(2086 年版)を使用。

*** 本件に関するお問い合わせ先 ***

プレスリリースの内容に関すること

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 川原

TEL:080-2107-8588 / E-mail:kawahara.mai@panasonic-homes.com

HP:<https://homes.panasonic.com/company/news/release/>